

平成 29 年 第 5 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

<p>12 月 8 日 午 後</p>	<p>岡 野 長 寿 議 員 (日 本 共 産 党) 質 問 方 式 : 一 問 一 答 方 式</p> <p>1 市長の政治姿勢について (1)核戦争の危機も想定される中、日本政府に対して、一刻も早く核兵器禁止条約に参加し、北朝鮮に対して、また核保有国に対して、シグナルを送ることが求められますが、具体的にどのような行動をとるか (2)憲法 9 条を改定する動きに対していかなる異議申し立てをするか (3)市民生活を守る防波堤としていかなる役割を果たすか</p> <p>2 子どもを大切にする教育の在り方について (1)学力対策について ア 現在 35 人を超える (36 人以上) クラスの学校名、学年、クラスは イ そのクラスでは PTA の指摘にあるような指導が十分ゆきとどかない状況にあるか ウ 尾道市の普通教室への空調設置率はどうか エ 旧尾道、御調、向島、因島、瀬戸田ではそれぞれどうか オ 近隣の市町の空調設置率はどうか カ 広島県、国の設置率はどうか キ 今後、どう対応するか、いかなる計画をたてるか (2)給食の改善について ア 中学校の給食を全員給食に改善する検討をすべきではないか イ 給食費の無償化あるいは軽減について検討すべきではないか</p> <p>3 市民を大切にする行政の在り方について (今回は国保制度について) (1)無保険の世帯はないか (2)国保料が滞納になっている世帯は何世帯あるか。それは加入世帯の何パーセントか。短期保険証の交付を受けている世帯、資格証明書の交付を受けている世帯の数と割合はどうか (3)他の医療保険制度と比べて国保加入者の所得に対する保険料負担率は、他の医療保険と比べて低くなっているか、それとも高くなっているか (4)高くなっているとすれば、是正すべきではないか (5)少なくとも他の医療保険制度より負担率が低くなるよう制度設計すべきではないか。そのために市も一定の公費を支出すべきではないか</p>
---	---

- 4 合併による矛盾を直視し、それを打開する施策について
- (1)合併前と合併後現在因島 尾道間の通行台数はどのように変遷しましたか
 - (2)合併による島嶼部の市民の生活の変化についてはどのような認識をもっているか
 - (3)生活実態が変わったのに、それに応じた市の対応がなされていないと思わないか
 - (4)平日の負担増部分を軽減する回数券購入方式を検討する考えはないか